

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 10 日作成)

小委員会名	杭の鉛直支持力小委員会		主 査 名：桑原 文夫 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：安達 俊夫
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	鉛直荷重に対する杭の支持力機構について、あらためて総合的に研究の現状を見直し、今後の研究の方向に関して知見を得るため、共同で研究活動を行う。 初年度：既往の研究の整理(国内外の文献調査に基づく現状把握) 2 年度：文献・解析を通じた検討 3 年度：解析・実験を通じた新たな検討 4 年度：報告書の作成		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	桑原文夫(日本工業大学) 土屋勉(室蘭工業大学) 山本春行(広島大学) 山崎雅弘(岡山理科大学) 蓮田常雄(東京建築研究所) 伊勢本昇昭(戸田建設) 青木雅路(竹中工務店) 佐伯英一郎(新日鉄エンジニアリング) 阿部秋男(東京ソイルリサーチ) 廣瀬智治(クボタ) 稲村利男(東洋テクノ) 長尾俊昌(大成建設) 佐原 守(大林組) 小椋仁志(ジャパンプイル)		
設置 WG (WG 名：目的)	1. 先端支持力 WG (杭先端支持力機構の解明) 2. 周面摩擦力 WG (杭周面摩擦特性の解明) 3. 相互作用 WG (群杭効果、杭相互の影響の検討) 4. 施工 WG (杭施工に伴う地盤や杭体の特性の解明) 5. 動的問題 WG (動的荷重を受ける杭の挙動の解明)		
2007 年度予算	600,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「杭の鉛直支持力を考える」2008.8.21(東京), 8.28(大阪)を予定
大会研究集会	1. 2007 年大会 基礎構造パネルディスカッション「あらためて杭の鉛直支持力を考える」 参加者数約 200 名 (資料名) 同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	杭の鉛直支持力に関する具体的な問題に対する検討や杭の設計・施工の実務に有用な諸提案を 5WG で検討し、その成果を残すため報告書の作成を行った。年度末には完成見込みで、次年度 8 月に開くシンポジウムで発表・意見交換を行う。 (目標達成度 95%)
委員会活動の問題点・課題	1. 実務で使われている多くの杭工法に対する実態の把握 2. 杭の支持力に対する委員の意見の調整 3. 小委員会で検討し、課題として残されたテーマの検討